

TOSAギャラリー

夕刊 TOSA 道場

世界のどの国へ行っても、これだけは必ず七つあります。いったいなに？



となりの
ニューヨーク
木戸孝子

アメリカ横断

テキサスから車で引越して来た私のボーイフレンドは、ニューヨークでは車が必要なくなり、ボスのお姉さんに売る事になりました。そしてアリゾナに住む彼女の家まで運転して届ける、という事になりました。

私も休暇をもらい、二人で車でアメリカを横断しよう、と話が決まりました。この計画を同僚たちと話すと、なぜかいつも反応が違います。

いつもは私のお出かけプランを、地図まで持ち出して、寄ってたかつて一緒に考えてくれる彼らが、渋い顔をして、「その旅行のアイデアはちょっとどうかなあ。やめといた方がいいんじゃない?」と言います。「なんで?」と聞くと、「車でアメリカ横断中に大げんかして別れるカップルって多いんだよ」。

私は、成田離婚のアメリカ版が、アメリカ横断破局なのか、と理解しながら、グッド・ラック

ク」という彼らの言葉を後に、ドライブに出發しました。

ニューヨークからアリゾナまでは、約三千八百キロ。夜は運転せずにハイウェイ沿いの安モーターに泊まり、三日間でアリゾナのお姉さんの家に到着する、というハードスケジュールで、車は走り続けました。そのころ私は、まだアメリカの運転免許を持っていなかったので、助手席で写真を撮ったり、景色を見たり、昼寝をしたり。

ニューヨークを出て、となりのニュージャージーを過ぎると、その後は高速道路料金をとられない事にはびっくりしました。中南部を過ぎたあたりから、砂漠地帯に入ってきて、野性的な荒野が広がり、牛の群れやカウボーイが見られるようになりました。

そしてアリゾナに入った途端に、サボテンがニヨキニヨキ生えていました。向こうの山に、大きなサボテンがニヨキ。家の庭に、家よりも背の高いサボテンがニヨキ。道路沿いにニヨキ。

三日目の夜にやっと、ボスのお姉さんの家にとどり着き、次の日には飛行機でニューヨークにたんぼ返りでした。途中どここの観光もできず、現像したベタ焼きを見ると、高速運転中の車窓からの流れるような写真はかかり。結局、アメリカ横断破局は訪れず、今や彼は私のだんなさんです。

New York
—Through The Pinhole
(Queens boro Plaza Station)



きと たかこ 1970年、中村市(現四万十市)生まれ。フリーランスフォトグラファーとして、ムック本シネマキッズなどの仕事を経て、2002年渡米。ニューヨークのイタナショナル センター オフ フォトグラフィーで学ぶ。

高知新聞(夕刊) 2009年1月29日

となりのニューヨーク -アメリカ横断-

テキサスから車で引っ越して来た私のボーイフレンドは、ニューヨークでは車が必要なくなり、ボスのお姉さんに売る事にしました。そしてアリゾナに住む彼女の家まで運転して届ける、という事になりました。

私も休暇をもらい、二人で車でアメリカを横断しよう、と話が決まりました。この計画を同僚たちに話すと、なぜかいつもと反応が違います。

いつもは私のお出かけプランを、地図まで持ち出して、寄ってたかって一緒に考えてくれる彼らが、渋い顔をして、「そのアイデアはちょっとどうかなあ。やめといた方がいいんじゃない?」と言います。「なんで?」と聞くと、「車でアメリカ横断中に大げんかして別れるカップルって多いんだよー。」

私は、成田離婚のアメリカ版が、アメリカ横断破局なのか、と理解しながら、「グッド・ラック」という彼らの言葉を後に、ドライブに出発しました。

ニューヨークからアリゾナまでは、約三千八百キロ。夜は運転せずにハイウェイ沿いの安ホテルに泊まり、三日間でアリゾナのお姉さんの家に到着する、というハードスケジュールで、車は走り続けました。そのころ私は、まだアメリカの運転免許を持っていなかったのので、助手席で写真を撮ったり、景色を見たり、昼寝をしたり・・・。

ニューヨークを出て、となりのニュージャージーを過ぎると、その後は高速道路料金をとられない事にはびっくりしました。中南部を過ぎたあたりから、砂漠地帯に入ってきて、野性的な荒野が広がり、牛の群れやカウボーイが見られるようになりました。

そしてアリゾナに入った途端に、サボテンがニョキニョキ生えていました。向こうの山に、大きなサボテンがニョキ。家の庭に、家よりも背の高いサボテンがニョキ。道路沿いにニョキ。

三日目の夜にやっと、ボスのお姉さんの家にたどり着き、次の日には飛行機でニューヨークにトンボ返りでした。途中どこの観光もできず、現像したベタ焼きを見ると、高速運転中の車窓からの流れるような写真ばかり。結局、アメリカ横断破局は訪れず、今や彼は私の旦那さんです。